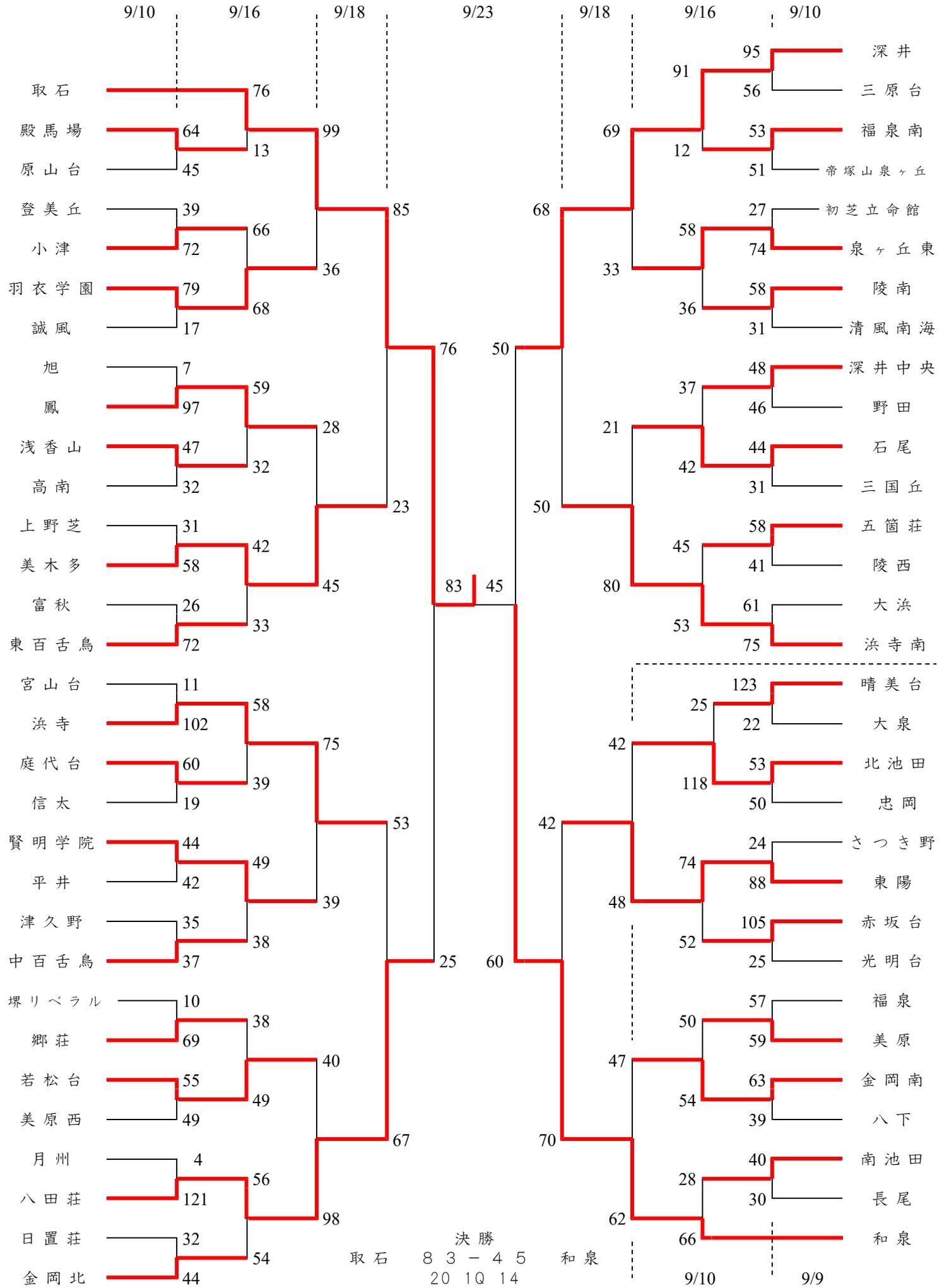




女子の部



決勝  
8 3 - 4 5  
20 10 14  
23 20 10  
23 30 7  
17 40 14

3位決定戦  
八田荘 5 9 - 7 1 深井

男子決勝戦評 和泉 42 - 58 金岡南

和泉⑬⑭⑮⑯⑰、金岡南④⑤⑥⑦⑫、両チームともにオールコートマンツーマン。金岡南⑫のドライブが、金岡南の高さの前にアウトサイドシュートが多くなり、思うように得点が伸びない。対する金岡南は⑦を起点に攻撃を組み立て、バランス良く攻め、速攻もつながら7-16とリードして1Qを終了する。警戒してカバーが遅れる和泉に対して、④⑬がドライブから得点を奪いリードを広げる。和泉は④⑭の3Pで対抗し、追い上げムーブドとなる。両チームともファウルがかさみ、フリースローを確率よく決めた和泉が20-23と点差をつめて前半を終える。後半が始まると、インサイドを攻める金岡南に対し、和泉はディフェンスの数を増やし対抗する。和泉は⑭⑮が1対1で攻め、逆転に成功する。しかし、金岡南はインサイドアウトから④⑫⑬がドライブを決め流れを譲らない。34-37と拮抗した状態で3Q終了。4Qでは和泉が前かからプレッシャーをかけるが流れをつかめない時間が続く。徐々にインサイドを守りきれなくなり、金岡南⑥⑦の1対1とリバウンドシュートが連続して決まり、リードを広げる。和泉はタイムアウトからプレッシャーを強めるが、落ち着いてボールをコントロールした金岡南が42-58で優勝を飾った。

(福嶋)

女子決勝戦評 取石 83 - 45 和泉

取石④⑤⑭⑮⑯、和泉⑦⑮⑯⑰⑱  
取石⑯のゴール下シュートで決勝の幕が開く。取石は⑤のインサイドを経由したパス回しかから⑭が3Pを決める。続いて④のドライブ、⑤のジャンプシュートで11-0と開始早々から優位に立つ。和泉はたまたまタイムアウトでゲームを立て直す。タイムアウト後も取石⑮のシュートが決まり、流れは変わらない。和泉は⑱が3本の3Pを決め、加えて⑰のバスケットカウントで得点を返す。20-14で取石リード。2Q序盤は互いに思うように得点が決まらない。しかし、取石が厳しいディフェンスと多彩な攻めで徐々にリードを広げていく。和泉は⑯を中心に得点を奪うものの流れを戻せず、43-24で前半を終える。3Qは取石⑯が気を吐き、インサイドを支配する。このQだけで⑯はペイントエリアで11得点をあげる。和泉は⑱を中心にオフェンスを組み立てる。取石の流れは変わらず、66-31で3Qを終える。4Qでは和泉⑦が2本の3Pを決め、一矢報いる。取石は最後までディフェンスの足を止めることなく、巧みに試合を進め、83-45で優勝を果たした。大阪中学校秋季総合体育大会でも、泉北地区の代表4校の健闘を期待したい。

(塩井)